

WIND FROM ZENO

ふれあい

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

2024.1.25 No.172

〒720-0311 広島県福山市沼隈町草深 1212
TEL(084)987-0357 FAX(084)987-3185

発行人 寶子丸 周吾 編集 ふれあい編集委員会
題字 大楽 華雪(毎日書道展評議員・審査員)

2024 (令和6) 年を迎えて

理事長 寶子丸 周吾

新年を迎えることとなりました。皆様にとって、幸せで充実した新たな一年が訪れることを心よりお祈り申し上げます。

2024年を迎えるにあたり、元旦に家族で団欒を楽しんでいるところに、石川県能登半島の地震速報が入りました。お正月という特別な日を迎え、家族が集まっているときに被害を受けた人たちのことを思うと言葉が見つかりません。心よりお見舞い申し上げます。

2024年度は、報酬改定が予定されており、これに伴う大きな制度改定が予定されています。

障がいのある人が希望する地域生活を実現し、地域生活が継続するための支援を充実させることや重度・高齢化する障がい者の支援に必要な医療と福祉の連携を強化するための方策、医療的ケアの必要な子どもたちの支援強化、児童発達支援センターの中核的役割強化や児童発達支援の類型一元化、支援の実態に応じた評価

のための方策、就労選択支援の実施や企業での雇用の定着支援、物価上昇や人財確保の必要性に対応し、報酬体系のメリハリのある改善や経過措置の検討、ICTの活用による業務効率化などの方策等、多岐にわたる内容が検討されており、大きな制度改正となります。

また、我々が直面している最重要課題の一つとして、少子高齢化が挙げられます。日本全体で少子高齢化が一段と進展し、経済社会や構造が変化する中で、結果として人財の確保が一層困難なものになっています。しかしながら、持続可能な事業の展開をするためには、人財の確保や育成は絶対に避けて通れない最重要課題であると認識しています。

「ゼノ」少年牧場の理念の一つ「人間はみな同じ」。子ども・大人・障がいのある人たち全ての人が同じ権利を有し、これを尊重すべきである。というゼノ・ゼブロフスキー 修道士の残された言葉と根本

的な価値観を基盤にこれらの課題に取り組んでまいります。

最後に被災地における復興が一日でも早く進み、前を向いて歩んでいける一年なることを祈って新年の挨拶といたします。

本年もよろしく
お願い申し上げます



ダナン市障がい者・孤児等保護協会 会長・副会長 来日

国際事業部 部長 内田 美保

9月18日～9月26日の9日間、NGO活動のカウンターパートである「ダナン市障がい者・孤児等保護協会」のロン会長とトゥオン副会長が来日されました。これまで、NGO活動として、日本語学習会を実施してきましたが、今後、ベトナムの施設等で働く職員を対象とした日本での研修や支援技術学習会も実施していく予定です。

今回の来日は、代表のお二方に施設等を見学して頂き、日本での研修プログラムについて意見交換を行なうことや、双方の福祉制度や施設運営について理解を深め、ダナンの市の福祉の向上に貢献できるように連携を強化することなどを目的としました。

初日は、ゆめなこども園のちびっこ太鼓で歓迎。子どもたちの元気いっぱいのお太鼓に大きな拍手を送られていました。法人全体の説明後、4日間をかけて 施設見学をして頂きました。施設の運営費は？ 職員の研修は？ 対応する

職員数は？ 商品が売れなかった時は？ 家庭での子育てが難しい場合は？など、多くの質問がありました。また、設備等についても熱心に見ておられました。今回は、保護協会で孤児センターや児童養護施設の運営にも関わっておられることもあり、『福山乳児院』様にもご協力を頂きました。運営方法や児童の置かれている現状などを比較しながら、意見交換が行われました。

ロン会長は、保護協会だけでなく、ダナン市、強いてはベトナムの発展、福祉の向上に尽力したいという強い思いをもっておられ、市長への表敬訪問を希望されました。当日は、現在実施しているプロジェクトへの支持と、ダナン市と福山市の友好関係が今後発展することを期待したいといった内容で話をされ、予定時間を超えての有意義な会談となりました。

ベトナム人職員との交流会では、職員が作ったベトナム料理を皆で堪能しながら、会話が盛り上が

りました。これから日本語学習会を卒業した学生さんが日本で就職をすることになります。が、実際に働いている職員と交流することができ、安心したと言われました。また、ロン会長は何度か日本に来られたことがありましたが、広島県は初めてであり、ぜひ平和記念公園に行きたいと希望がありました。後半の1日は広島観光に出かけました。平和記念公園、原爆資料館、宮島を見学し、日本の歴史、文化にも触れていただくことができました。

来日前に誕生日を迎えられたロン会長は、御年80歳。ロン会長のパワーを改めて感じました。広い視野で精力的に活動をされるロン会長と一緒に活動ができることに感謝し、NGO活動がさらに発展していくように、尽力していきたいと思えます。



外国人財の入職状況

国際事業部 国際業務担当事務員 松本 浩明

現在の「ゼノ」少年牧場には、

【特定技能】および【介護】の在留資格によって働いている職員が10名います。以前、ふれあいNo.166(2021.7.25発行)において、特定技能制度を利用して当法人に就職した第1号職員としてクアンさんを紹介しました。それから約3年で現在の人数となり、働く場所も入所施設やグループホーム、就労支援施設、放課後等デイサービスと様々な職場で活躍していただいています。今年度は12月時点で5名が入職しています。表の入職時期から「ゼノ」で働く外国人財が、年々増え続けている様子が見えられます。

先ほどのクアンさんは、介護福祉士国家試験に合格し、介護福祉士の登録をおこない、【介護】という在留資格に切り替えることができました。【特定技能】には働ける期間が5年と制限がありますが、【介護】には制限がありません。また、働ける期間だけではなく、家族の帯同も認められます。しかし、

この試験に合格するためには、仕事と勉強(日本語・介護)の両立が必要です。高い壁ではありますが、介護福祉士を目指すという方たちをこれからも応援したいと思います。

最後に、ベトナムでおこなっている日本語教室の様子をこれまで報告させていただいていましたが、今年度は、その日本語教室の第一期卒業生3名が【特定技能】および【日本語能力試験】に合格しました。その方たちは「ゼノ」に就職する予定です。彼らを見ながら紹介できるように、ベトナムと日本で手続きを進めています。国際事業部のメンバー一同、前を向いてがんばりたいと思います。

外国人財 入職状況表

| 名前 | 所属 | 入職時期 | 在留資格 |
|-------|-----------|----------|------|
| クアンさん | やまびこ学園児童部 | 2021年4月 | 介護 |
| キエウさん | なごみの家 | 2021年9月 | 特定技能 |
| ハンさん | やまびこ学園児童部 | 2022年2月 | // |
| ニーさん | やまびこ学園成人部 | 2022年7月 | // |
| ホンさん | Home未来 | 2022年9月 | // |
| ハーさん | JOBプラスはんど | 2023年4月 | // |
| ガムさん | やまびこ学園成人部 | // | // |
| ゴックさん | ぷくぷく | 2023年7月 | // |
| ズンさん | なごみの家 | 2023年11月 | // |
| チャンさん | Home白雲 | // | // |

はんど made のお店
manomano
まあの まあの

全て手作り!こだわりの・・・
メンチカツ — 120円
コロッケ — 80円
ハムコロッケ — 100円
自家製野菜天ぷら — 時価

連絡先 広島県福山市沼隈町草深 2133-1
TEL 084-980-7002

製造・販売/ JOB プラスはんど



FITNESS IGOCAS
【スタジオエクササイズも色々】
エアロビクス、ZUMBA、
KaQiLa、YOGA、太極拳、
HIIT トレーニング etc

新聞・雑誌・ダンボール・空き缶
無料回収いたします

お問い合わせは **TEL(084)987-5810**
こちらまで

ゆめの木・わかば / 日中部門 福山市沼隈町大字草深 1694-1

ベトナム出張を終えて

法人事務局 事務局長 池田 真吾

12月中旬にベトナム現地での活動をさらに強化するため理事長とともにベトナムへ出張させていただきました。その目的は、送出し機関として連携をとっているESU HAI(以下、「エスハイ」と記載します)を訪問し、これまでの感謝と今後の連携強化のお願いにあがること、日本語教室第2期生に対して特別講義を実施すること、そして、孤児院等の子どもたちに日本の音楽や遊びを通して触れ合うとともに、今後のNGO活動に係る打合せを進めることなどを大きな柱としていました。

さらに、ダナン市人民委員会(こちらで言う広島県庁等の行政機関)を敬訪問し、副委員長と面会の機会も予定していました。実際の会談のなかで「ダナン市と福山市との連携強化の懸け橋としてこれからも尽力してもらいたい」との要請を受け、行政の面からも強い期待が込められていることを感じさせられました。大きな不安を抱えながら訪れ

ましたが現地では熱烈な歓迎をいただき、ベトナムの方々の温かな国民性に触れることで、一気にそれは解消し、むしろ現地での生活を楽しむことができたように思います。

また、エスハイ日本語学校の様子を拝見した際の必死に学ぶ学生の姿を目の当たりにしたとき、日本で働くことに懸命な努力を傾けている心意気を感じ取ることができ、大きな感動を得ました。

エスハイではロン・ソン代表取締役社長と意見交換する機会も頂き、今後、絶大な協力を頂けるお話しまで挙がり、当法人のみならず地域の福祉人財の確保が期待できるものとなりました。

5日間の日程でダナン市障がい者孤児等保護協会が主催する感謝祭のようなイベントにも参加する機会をいただきました。そこで当法人の活動も表彰され、理事長が登壇しロン会長から感謝状を受け取る運びとなりました。

また、障がいのある人や子どもたちが楽器演奏や踊りなどを披

露する機会も設けられており、当日に向けて練習して来られた成果を遺憾なく発揮されている様子も拝見し、温かい気持ちにさせられました。

そのなかで、視覚に障がいのある方々が歌や楽器を披露する姿が多くありました。日本では鍼灸やマッサージなどの分野で働く方々が多いイメージがありますが、ベトナムでは音楽を主たる活動にされている方々が多くいることに触れ、日本における支援のヒントも頂けました。

今回の出張を通して、多くのベトナムの文化を体感し、ベトナムの方々の優しく心温かい国民性に触れることができました。また、私自身がたった8日間を家族や愛犬と離れて暮らすことへの寂しさを感じましたが、日本で働く外国人はそれをはるかに超える期間、愛しい家族と離れ離れで暮らしていることを考えると、彼らへの敬意と感謝の思いを強くするばかりでした。



2024 年度採用予定者内定式を開催

法人事務局 事務局長 池田 真吾

通り過ぎる秋風が木々を揺らし、なんとも言えない風情を感じさせる10月2日、当法人は10名の採用予定者を招いて内定式を開催しました。

まず10名の内定者の皆さんに理事長から一人ひとり内定証書が手渡されました。厳粛な雰囲気、緊張を隠し切れない皆さんでしたが、理事長に温かい言葉をかけられると揃って笑顔に変わっていく姿にほっこりさせられました。

そして、内定式を迎えられた皆さんへのお祝いの言葉から始まった理事長のあいさつには、これからのゼノを支えてくれる若者に大きな期待を寄せたメッセージが込められており、とても温かい気持ちになりました。また、それに応えるように内定者代表のあいさつでも、4月からゼノで働くことを心待ちにする強い意志と熱意を感じることができ、とても感動的でした。

さらに、先輩職員として歓迎のあいさつをしてくれた放課後児童デイサービスセンターぶくぶくの高橋さんからは、自分自身が入職した当時の心の揺れ具合、先輩か

らの救いの手、周りのサポートなどの実体験を踏まえ、「不安や緊張があってもゼノにはそれを支えてくれる多くの先輩がいることに安心して、しっかりと頼ってください」と締めくくってくれました。内定者の皆さん、私は高橋さんのこの言葉を信じて、4月からの社会人生活をしっかりとスタートしてくれるものと期待しています。毎年、式典終了後には内定者

同士の交流の場を準備させていただいております。式典の緊張感から解放され、笑顔で談笑する内定者の皆さんを見ていると、若いっていいなあと感じる歳になってしまいました。自分にもあの頃があったのかと初心に帰ることができたのかもしれません。

日本全体が人手不足に陥るなか、10人を超える若者が私たちとともに働きたいと願って当法人の門を叩いてくださいました。その期待に応えられるよう、内定者の皆さんが新たな挑戦を迎えるその日まで、私たちは皆で力を合わせ温かい職場作りを進めてまいります。

お米寄贈の御礼(もちつき大会の様子)

幼保連携型認定こども園ゆめな 園長 川元 信之

2023年12月22日(金)冬らしい寒さとなったこの日に、新年を迎える行事としてもちつきを行いました。

前日の夕方に、石臼を園庭へ出した時から「あしたはもちつき」と子どもたちの気持ちが盛り上がっていました。お正月におもちを食べる機会も少なくなりつつあるこの頃、重たそうな石臼が動くのを見るだけでも、「うあくやばい！」と歓声があがります。

当日、豆絞りをキリリと鉢巻きにして蒸したてのもち米を「よいしょ！よいしょ！」と、友だちのともも元気な掛け声に囲まれてもちをつきました。初めて杵を持った子どももペタン、ペタンといい音を鳴らし、つき終わるとニッコリ笑顔を見せてくれました。できあがったもちをみんなで丸め、お腹いっぱいになるまでいただきました。



ゆめな

T様よりいただいたお米で、各事業所でもちつき大会を行いました。この度は誠にありがとうございました。



ゆめサポート・バク





わっしょい! わっしょい!



やまびり学園



ありがとうございます ゆめサポート・バク寄付金贈呈式

ゆめサポート・バク 施設長 田頭 聖司

去る9月16日に、当事業所において、ゆめサポート・バク保護者会(以下、保護者会)からご寄付を賜りましたので、ささやかな寄付金贈呈式を執り行わせていただきました。

この度のご寄付は、保護者会が本年5月をもって活動を終えることとなり、これまで、バザーに出店するなどして売り上げた収益や保護者会費の一部をコツコツと積立された蓄財でした。

贈呈式では、保護者会大植会長より「バクに通う利用者さんが作業・活動がしやすくなるように使ってください」とご寄付の趣旨を伝えられ、寶子丸理事長へ目録が手渡されました。理事長より「バクの再整備など大きな環境改善に役立てさせていただきます。本当にありがとうございます。」と謝辞を述べ、保護者会大植会長に感謝状を贈呈いたしました。

式の後には、当日駆けつけてくださった保護者の皆様と四方山話に花を咲かせ、これまでの歩みや

歴史を振り返り返りかえる歓談の席を設けさせていただきました。保護者会の皆様のご厚情に深く感謝いたしますと共に、ご意向をしっかりと受け止め大切に活用させていただきます。この度は、誠にありがとうございました。

寄付額
6,211,906 円



ありがとうございました



家族みんなの

ほのぼの石けん

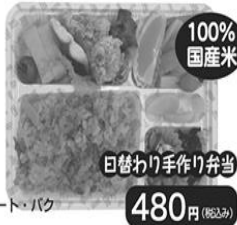
私たちあかつきが販売しているほのぼの石けんは、パームヤシオイル100%の無添加でまっ白な固形石けんです。皆さま安心しておつかい下さい。



◎贈答用に箱入りも注文承っております。

あかつき
福山市神辺町八尋951-4
TEL: 084-965-0735
FAX: 084-965-1595

旬の食材いっぱい!!
バクの手作り弁当
バクの手作り弁当は毎日食べても飽きない家庭の味。
旬の食材を使用し、栄養バランスを一番に考えた手作り弁当です。



日替わり手作り弁当
480円 (税込)

お弁当注文とお問い合わせはこちらまで
084-960-2256

製造・販売 / ゆめサポート・バク

吸い取り抜群!
上質ウエスを販売しています



お問い合わせはこちらまで
084-960-2256

製造・販売 / ゆめサポート・バク
広島県福山市神辺町東中条7301-6

サンプルを持ってご説明にうかがわせて頂きます。

環境整備ボランティアの御礼 広島連合ブロックCR会様

「ゼノ」こばと園 栄養士 橋本 幸恵

12月9日(土)、広島連合ブロックCR会の皆さまが、環境整備ボランティアに来てくださいました。毎年2回、夏と冬にお越しいただいているのですが、今回は保護者用駐車場の雑草対策として防草シートを張っていただきました。皆さまの力と手慣れた技のおかげで、約1時間であつという間に仕上がりました。

3つの園舎、4つの駐車場のあるこばと園は、1年の半分は雑草対策に追われており、長年の懸案事項でもありましたが、防草シートにより少し楽になりそうで大変助かります。ありがとうございます。

< 刈った草の処理 >



< 防草シートにアンカーを打ち込む >

< できあがり! >



子どもたちへのプレゼントの御礼 福山友の会様

「ゼノ」こばと園 児童発達支援ワーカー 藪内 亜企子

12月5日の午後、福山友の会よりお二人の会員様が、こばと園の子どもたちにプレゼントを持ってきてくださいました。手作りのクッキーに手作りの布ボール、みかん1箱、タオルをいただきました。福山友の会様には、長年この時期にこのようなたくさんさんのプレゼントをもつてお越しいただいています。布ボールは、子どもたちが当遊びをするのにちょうどいい大きさと硬さで、大変重宝しています。今年もありがとうございます！大切に使用させていただきます。



ありがとうございました

Come 叶夢ハウス(カムカムハウス)2023活動報告

未来(あした)も笑おうプロジェクト 佐藤 勝則

2017年7月23日のスタートから、2023年12月24日の開催で127回目を迎えました。ちょうど1年前に、私の役割が子どもたちと遊ぶことから進路や悩み相談、お母さん方の何でも相談係に変わってきたことをお伝えしましたが、今回はその続きをご報告いたします。

子どもたちの年齢層も変化し、5歳から20歳までの15名ほどの子どもたちとお母さん方、そしてスタッフの総勢30名程が月2回の開催に参加されています。この1年間でカムカムハウスを卒業された子どももいますが、新しく迎えた子どももいます。そのほとんどが学校に行っていない子どもたちです。体育館での遊びや食事の様子などを見ていると、色々なことについて圧倒的な経験不足を感じます。カムカムハウスはこの6年間で「子どもたちの居場所」にはなれたと思いますが、月2回の開催では子どもたちの思いを形に変えてあげることが難しく、ましてや卒業後の進路や社会人としての自立につなげていくことは簡単ではなく、私たちの

役割の難しさを感じています。

そうは言いましても、当の子どもたちは特に悩んでいる素振りもななく、月2回の開催を楽しみに来てくれています。この6年間変わらず取り組んできた「誕生日のお祝い」は子どもたちの「相手を思いやる心の成長」につながっていると感じていますと共に、自分を周りの人たちからお祝いしてもらった経験は、きつと子どもたちの「心の宝」となり、優しさにつながると思います。

更なる成長を願って、今後はカムカムハウスのプログラムを少し変更していきたいと考えています。子どもたちが、遊ぶ、お昼を食べるのではなく、参加するプログラムを自分たちで選ぶという形に出来ないかと考えているところです。

その中で、「創造・経験・チャレンジ」が出来るようになれば、子どもたちの「自分のことを考える力」につながるのではないかと楽しみな想像をしています。

今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

令和5年度 内部監査について

経営企画室 吉田 崇

11月22日～12月15日の期間で法人内全施設、事業所へ内部監査を実施させて頂きました。今年度は監査項目についてコンプライアンス、ガバナンス毎にチェックリストを再編し、要点を絞って確認をさせて頂いていただきました。

内部監査の所感を6項目に分けて述べさせて頂きます。

- ①施設長会での「現場職員の声」を受けて、各施設で数人ずつインタビューをさせて頂きました。やはり多いのは人員補充の声でした。職員の疲労感、モチベーションの低下への不安はありますが、時間外で対応しているところ、配置基準は満たしているがギリギリの人員配置で回しているところ等、現場職員の皆さんが頑張ってくれている実態はよく分かりました。ほか、利用者支援への悩み(例:あるGHでは人手不足で夜勤回数が増え、その分、土日祝の日中勤務が減って余暇支援が少なくなっているなど)の声も聞かれました。
- ②人員配置基準について、①での声はありますが、現状の基準や要件を満たしてはいました。また、常勤換算の考え方など、基準の再確認を改めて一緒にすることで共通認識を持たせた点、独自の確認シートとの共有などができた点は良かったと思います。
- ③今年度中に作成しなければならぬ書類や委員会等の開催について、法人全体の状況把握と、内容の確認・互いの様式の活用、ゼノ内の他の施設ではこんな風に行われているといった情報提供など、減算措置にならないよう、確認できたことは良かったと思います。
- ④ガバナンス面について、色々な取り組みがありますが、管理職側(くはしている)と現場職員(くはしていませんか)との認識の違いは散見され、報連相の在り方・全体へ浸透させる方法など、ガバナンス構築のための課題をいただいたように思います。

⑤利用者預り金についての不祥事が報道される中で、法人内で預り金のある全事業所、施設において実査を行い、すべての場所において適正に処理されている事が確認できたことは良かったです。これまでの内部監査での指摘を確実に改善していただいていることに感謝いたします。

⑥ケアコラボといった共通ツールの活用や、クレジットカードの使用など、「便利になりました、手間がへりました」といった声は多く、業務の効率化が進んでいることを感じます。

お忙しい中対応してくださった皆様ご協力ありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します。

「ポーランドから来たゼノ修道士」出版イベント 〜 駐日ポーランド大使館にて 〜

人財企画室 室長 原口 真

2023年11月6日、ポーランド大使館より、ゼノ・ゼブロフスキー修道士による、取り組みの足跡を書籍、講演会などを通して、啓発活動に取り組んでいる石飛 仁氏による出版イベントに招かれました。

今著書は、「自然食通信社」から出版されている「風の使者 ゼノ」が、「聖母の騎士社」からの再販の形で改めて出版されることとなり、ポーランドとの国交100周年記念から準備がなされたとのこと。ポーランド共和国においても、日本におけるゼノ修道士の功績の大きさが伺えました。

冒頭、駐日ポーランド大使の挨拶からも、ポーランドと日本の関係性の深さが語られ、杉原千畝氏の命のビザから始まり、日本人によるポーランドでの戦災救済の働きかけ、ポーランド共和国内にゼノ修道士の名前を冠した学校が存在するとの説明もなされました。講演では、主に「聖母の騎士園」、

「蟻の街」での活動状況が報告され、1962年広島で障害者施設を作り、現在も存在していると、当法人の存在について触れられていました。

終始、ゼノ修道士の愛の深さについて語られ、「蟻の街」でのゼノ修道士の働きかけは、救済対象者自らも生活の術を獲得していく過程が丁寧に説明されていました。

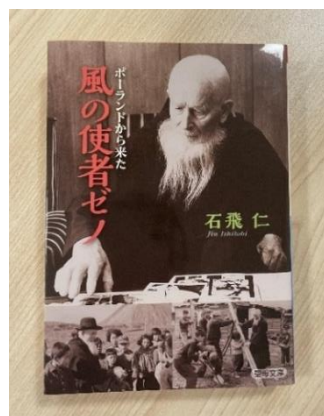
また、長崎県での「聖母の騎士」布教活動に係る印刷までの取り組み、出会った人から必ず名刺を受け取るなどの活動で、ネットワークを広げていくゼノ修道士の取り組みは、保護、救済に留まらないものがこの頃より伺う事が出来ます。

最後には、コルベ神父とともに来日した日と奇しくも逝去した日が同日であることから、4月24日を「ゼノ修道士の日」とすることが報告されました。

講演後、石飛氏との懇談では、

ゼノ修道士の実践から、現在「ゼノ」がNGO活動で行っている、ベトナムにおいての孤児院への関わり、これらを通して、「ゼノ」に入職するベトナム人介護職の存在などを説明したところ、非常に関心を示されました。

ゼノ修道士の実践について、「ゼノ」少年牧場の創設理念を改めて見直す契機であったとともに、逝去40年以上の年月を経ても、石飛氏の研究、駐日ポーランド大使館関係者、並びに青山学院大学教授や聴講者の存在を目の当たりにし、ゼノさんの存在の大きさを感ずる時間となりました。



私のほっこり日記

「ゼノ」こぼと園 児童発達支援ワーカー 光野 帆乃夏

入職して2年目の今年も、子どもたちと関わっていく中で嬉しい成長や気づきをバネに、毎日の支援を行っています。

4月から新しいグループとなりドキドキも最高潮の子どもたちは、お互いのことが分からず、喧嘩やトラブルの絶えない新年度のスタートでした。夏を過ぎてもなかなか「仲間意識」が芽生えず、友だち同士でゲラゲラと笑い合う瞬間が少なく感じています。秋になり、公園遊びでの氷鬼ごっこを繰り返す中で、ポジティブな感情を共感し合う関係性ができってきました。

お友だちとの関係をもっと深く育てたい！と迎えた冬。ある日、子どもたちだけでルールを決めて鬼ごっこを始めることがありました。それから、子どもたち同士でふざけ合い、声が出なくなるまで笑い転げる姿が頻繁に見られるようになりました。これまで『何をするか(されるか)分からない』と不安そうなお友だちの行動を

見ていた子も、今では『何をしてくれるんだろう?』と期待し、「○○君おもしろい!」「もう1回やってみて!」とことばでやりとりをする場面が増えてきています。1人が面白いことや変顔をして見せると、真似をして1人、2人:と楽しい雰囲気広がっていく面白さを子どもたちと共有できたとおもいます。4月の様子を思い返すと、とても感動したと同時に、なんだか自然と口角が上がってしまったような「ほっこり」とした瞬間でした。

このような何気ない日常の中で、「子どもたちが笑顔になる瞬間はいつだろう?」と意識して関わることで、子どもたちのキラキラ輝く笑顔をできるだけ多く増やし、その瞬間を見逃さないよう、残り少ない卒園までの時間を大切にしていきたいと思えます。

Italian gelato
Arocogiano



イタリアンジェラート
アルコジャーノ



イベントへの出店、移動販売のお問い合わせ、
ギフトなどのお申込は下記までご連絡下さい。

お問い合わせはこちらまで **084-960-2256**

製造・販売 / ゆめサポート・バク

www.arocogiano.jp アルコジャーノで検索

総合福祉施設を形成するZENOGグループ

- 入所施設
 - 【障害児入所施設】「ゼノ」やまびこ学園児童部
 - 【障害者支援施設】「ゼノ」やまびこ学園成人部、「ゼノ」なごみの家
- グループホーム
 - 【共同生活援助事業】
 - 〈沼隈地区〉
 - 「ゼノ」Home 青雲、「ゼノ」Home 白雲、「ゼノ」第3ホーム
 - 「ゼノ」あじさいホーム、「ゼノ」Home らん、「ゼノ」第2ホーム
 - 「ゼノ」わこうどホーム、「ゼノ」さくらホーム、「ゼノ」Home おおぞら
 - 「ゼノ」Home 銀河、「ゼノ」Home ジュピター、「ゼノ」Home 虹
 - 「ゼノ」第1ホーム、「ゼノ」第6ホーム、「ゼノ」ホームひだまり
 - 「ゼノ」Home 大地、「ゼノ」Home 太陽、「ゼノ」Home 未来、「ゼノ」Home 輝
 - 「ゼノ」ホームなごみ(さちの里・ふくの里)
 - 〈松永地区〉
 - 「ゼノ」Home 翼
 - 〈神辺地区〉
 - 「ゼノ」ホームたびあ、「ゼノ」ホームゆの、「ゼノ」ホームひまわり
 - 「ゼノ」ホームそよかぜ、「ゼノ」ホームせせらぎ、「ゼノ」ホームこもれび
- 居宅系事業
 - 【居宅介護事業】生活支援センターほほえみ、ケアサポートひなた
- 通所系施設
 - 【障害福祉サービス事業多機能型事業所】
 - ゆめの木・わかば、JOBプラスはんど、あかつき
 - ゆめサポート・バク
 - 【児童発達支援センター】「ゼノ」こぼと園
 - 【児童発達支援事業】第2こぼと園
 - 【放課後等デイサービス】
 - 放課後児童デイサービスセンターぶくぶく、「ゼノ」こども広場まつなが
 - 放課後児童デイサービスセンターらいず
 - 【認定こども園】幼保連携型認定こども園ゆめな
 - 【保育所】松永東保育所
- 相談支援事業
 - 【相談支援事業】「ゼノ」こぼと園相談支援事業所
 - 相談支援事業所「ゼノ」からっと、相談支援事業所ほっぷ
- その他
 - 【診療所】「ゼノ」診療所
 - 【地域公益事業】未来も笑おうプロジェクト Come 叶夢ハウス
 - 【国際事業部】